

親子聖書日課

NO.1518 2017.10/29-11/4 名前

[日]教会の交わりが楽しくなると、この世の付き合いは疎遠になり、その結果、福音を語る機会も少なくなるでしょう。そこで「時をよく用い、外部の人に対して賢くふるまう」チャンスをつ捉えて、福音を語ることです。それには、祈りと準備が必要です。

[月]エパfrasが教会員のためにいつも熱心に祈ったのは、「神の御心を全て確心しているように」と願ったからです。私達の不安は、御心を確信しない事からきます。神の御心が何であるか知ると共に、確信が与えられるように祈りましょう。

[火]教会を建て上げるためには信仰・希望・愛が必要です。「信仰によって働き」「愛のために労苦し」「希望をもって忍耐している」なら、教会は必ず成長します。「ただ言葉だけによらず、力と聖霊と強い確信」によって伝道する事が大切です。

[水]信仰を育てるためには、母親の優しさと父親の厳しさの両面が必要です。そして何よりも「自分の命さえ喜んで与える愛」が必要です。信仰の産みっ放しはダメです。互いに信仰の親になって、ある時は優しく、ある時は厳しく接しましょう。

[木]「こんな苦しい目に遭うなら、神を信じたくない」という人はいませんか。しかし、私達も「苦難を受けるように定められている」のです。それは信仰の成長のために、必要だからです。苦難によって、信仰が練達し、人を慰めることもできます。

[金]欲に負けて、悪い習慣や付き合いをしていませんか。神は「聖なる生活」をさせるために私達を招かれたのですから、「これでいい」と思っはけません。そのために聖霊が送られたのですから、聖霊を心に宿して、清く正しく生きましょう。

[土]主はいつ私達の所に来られるかわかりません。「盗人が夜やって来るように」思いがけない時に来られるのですから、いつ来られてもいいように、「目を覚まし、身を慎む」御言葉と祈りを絶やさず、霊的に眠らないように、励まし合いましょう。



	聖書	問題	答え
日	コロサイ 3:18-4:6	時をよく用い、外部の人に対してどのようにふるまうべきですか。	
月	4:7-18	何を全て確信しているように、エパfrasは熱心に祈りましたか。	
火	I テサロニケ 1:1-10	福音が伝えられたのは何と何と何とによったからですか。	
水	2:1-16	福音を伝えるばかりでなく、何さえ喜んで与えたいと願いましたか。	
木	2:17-3:13	私たちが何を受けるように定められていますか。	
金	4:1-12	実に、神の御心は、あなたがたがどうなることですか。	
土	4:13-5:11	人々が、無事だ、安全だ、と言っているやさきに、突然、何が襲いますか。	
		感想と祈りの課題	